

別記  
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		H 24 年 6 月 23 日	
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 船橋市本町2丁目7番17号		千葉県	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 石井食品株式会社 代表取締役社長 長島 雅

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004
適用範囲	石井食品（株）八千代工場、唐津工場、京丹波工場、イイ産業（株）（株）ダイクイイ
導入年月日	2004 年 1 月 22 日
認証番号	JNAQA-E462
基本方針	環境関連の法律、法令及びその他の規則、協定などを遵守すると共に、必要に応じ自主基準を定め、環境保全に努めます。地球環境保護の為、省資源、省エネルギー、地球温暖化防止、廃棄物の低減に努めます。環境影響を考慮し、環境目的、目標を定め、環境汚染に関する継続的改善、予防に努めると共に定期的な見直しを図ります。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	2012年度3月度には二酸化炭素、月間排出量の5%を削減し403ト/月にする事を目指します。（2008年度比）水の使用量を2012年度3月度までに30%削減し5.5m <sup>3</sup> /日にする事を目指します。（2008年度比）動植物性残渣を2012年度3月度までに半減し3.3t/月にする事を目指します。（2008年度比）
目標を達成するための取組の内容	二酸化炭素削減・・・冷凍設備を小型化した。（2011年9月）全体空調稼働による負を無くす為、個別空調を完備した。（2011年12月）冷暖房効率を上げる為に事務所の仕切りをカーテンからボードに変更した。（2012年1月） 水の削減・・・洗浄に温水を使用する事で洗浄効率を上げる。 動植物性残渣の削減・・・メンテナンス強化により設備由来の製品不良品を削減する。
目標を達成するための取組の進捗状況	二酸化炭素削減・・・計画通り実施済 水の削減・・・実施中 動植物性残渣の削減・・・メンテナンス計画に沿って実施中
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	二酸化炭素削減・・・当初計画通り 水の削減・・・食品安全とトラブル回避の為、ボイラーや冷却塔の使用水を地下水から水道水に切り替えた事により達成度が悪い。 動植物性残渣廃棄物の削減・・・ISO9001やISO22000の取り組み強化により、食品の安全性が向上した分、廃棄物が増加し達成度が悪い。
事業活動に係る法令の遵守の状況	法のチェックリストを作成し、1回/月順守確認を行っている。条例や法令の改定については、環境事務局が情報を入手し1回/月開催の環境委員会に於いて各部門へ情報発信している。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境規定により1回/年、4月に見直しを実施している。H21年、H22年度の水、動植物性残渣の達成状況が悪く、H23年度は本社環境事務局が目標の整合性を高める為、目標の見直しを実施した。その結果、京丹波工場の目標は下方修正された。水→3.8t/月 動植物性残渣→3.8t/月

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。